

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-108914

(P2019-108914A)

(43) 公開日 令和1年7月4日(2019.7.4)

(51) Int. Cl.			F I			テーマコード (参考)	
F 1 6 F	15/04	(2006.01)	F 1 6 F	15/04		P	2 E 1 3 9
F 1 6 F	7/12	(2006.01)	F 1 6 F	7/12			3 J 0 4 8
F 1 6 F	7/00	(2006.01)	F 1 6 F	7/00		F	3 J 0 6 6
E 0 4 H	9/02	(2006.01)	E 0 4 H	9/02	3 3 1 A		

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2017-241188 (P2017-241188)
 (22) 出願日 平成29年12月15日 (2017.12.15)

(71) 出願人 399117730
 住友金属鉱山シボレックス株式会社
 東京都港区新橋5丁目11番3号
 (71) 出願人 000125370
 学校法人東京理科大学
 東京都新宿区神楽坂一丁目3番地
 (71) 出願人 598015084
 学校法人福岡大学
 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
 (74) 代理人 100106002
 弁理士 正林 真之
 (74) 代理人 100120891
 弁理士 林 一好

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 免震装置、及び、その修理方法

(57) 【要約】

【課題】弾塑性材料からなる振動エネルギー吸収部を備えてなる免震装置或いは制振装置において、当該振動エネルギー吸収部の亀裂の発生を未然に抑制するのみならず、塑性変形の繰り返し等によって当該振動エネルギー吸収部に微細な亀裂が発生した場合であっても、これを有効に修復して、更に長期に亘る当該装置の使用の継続を可能とし、これにより、長期耐久性に秀でた免震装置等を提供すること。

【解決手段】鉛、錫、銅、又は、少なくともこれらのうちのいずれかの金属を含有してなる合金である弾塑性材料によって、ダンパー本体10や、金属プラグ51等の振動エネルギー吸収部が形成されている免震装置等であって、振動エネルギー吸収部の表面の一部又は全部にポリウレア樹脂をベース樹脂とする被膜部20が形成されている免震装置等とする。

【選択図】 図1

